

平成23年度[師勢] 4月 人吉市立田野小学校長 坂本吉章

[田野小学校の教育の創造を求めて]

新しい創造と幸せをめざした田野小学校の船出です。新しい先生方を迎え、ここに平成23年度が出発しました。

「笑顔の出会い」

- (・今日は、 ができますように。)
- (・今日は、 さんと仲良くできますように。)
- (・今日は、 が楽しみだな。)

「笑顔のわかれ」

- (・今日は、 ができるよになってよかったな。)
- (・今日は、 が分かるよになってよかったな。)
- (・今日は、 さんと仲良くできてよかったな。)

そんな子どもの思いをしっかり受け止めて、教育に邁進していきたいものです。

このことは、私たち職員にも言えることだと思います。

そのためには、先生方の知恵と協力なくしては実現は不可能です。

どうかよろしく願いいたします。

先生方の構え

本年度から、新学習指導要領により教育が始まります。昨今の教育の流れの経緯を十分理解し、前を向いて教育に取り組まなければなりません。そのためには、教師道の見直しと確立が大切です。田野小学校の教育に当たっては、下記の点に視点をおき、頑張ってください。

(1) 無限の道を求めて

教育ほど深い営みはありません。求めても求めても、満足する結果はできません。ですから、教育の道は、完全性を追い求める無限の道だと思います。つまり、教育の道は、最高にして最善の教育を追求する人間形成の営みだと思います。だから、そこで教育する教師の道は、保護者にとって、子どもたちにとって最高のものが期待されます。

(2) 後姿の教育

ペスタロッチは、教育は、わが姿なりと強調し、子どもたちとの直接の関わりを通して人の生きる道を説いたと言います。ペスタロッチの写真には、どんな写真にも子どもが取り巻いています。あのペスタロッチのやさしい眼と子どもの真剣に聞く眼は、それを象徴しています。【後姿の教育】として、「語る人尊し、語るとも知らで、体で語る師さらに尊し。導く人尊し、導くとも知らで、後姿で導く師さらに尊し。」と言います。先生方の姿そのものが教育の鏡になります。自己研鑽の努力をし、後姿で導く教師になりたいものです。「徳においては全身に、義務においては堅実に」の精神を身につけたいものです。

(3) 五者を求めて[本年度の教師道の指標]

五者とは、**学者**(学問に精通し、授業で勝負する教師)、**医者**(子どもの心身の神秘を熟知し、相談にのれる教師)、**易者**(子どもの将来を予想し、夢を引き出す教師)、**役者**(心を揺さぶり、語りかけや説得、そしてうなずきのできるなど感性を表現できる教師)、**行者**(率先垂範の姿を[どこでも][いつでも][誰にでも]見せ、成功の喜びは努力が必要であることを教える教師)です。現在のような変化の激しい社会では、教師は専門性のほかに、人格に秀でた教師道が求められます。どんなことにでも対応できる能力が求められます。五者はその能力の範疇を示しています。

(4) 仕事は厳しく、責任を自覚して

[仕事は厳しく、職場は明るく、楽しく]を学校経営の基盤にしたいと思います。どんな仕事であっても、いい加減な処理は許されません。教師は教師という専門性の自覚を根底に、教育の意義を深く認識し、仕事に愛情を持ち、仕事に責任を持つことが大事であり、このように努力していくことが[師の道]というものでなかりかと思ひます。限られた職員数ではありますが、お互い自己研鑽に努めていきましょう。

(5) 教育の姿勢は、二つの眼で

教育の姿勢は、[教えることは優しく、育てることは厳しく]がモットーです。子どもの内面に迫り、間違っただことでも、どうして間違っただのかをしっかりと聴ける教師になりましよう。全職員で子ども一人一人を田野小学校という学級の一員として育てていきたいものです。

(6) 三常の教育を

これまで21世紀に向けて新しい教育の構想が練られ、現在、その取組がなされています。これからの時代は、急激な社会の変化のため、人間の価値観や生き方が個性化し、人間としての力量(感性と理性を使い分ける力)が低下してくるような気がします。いや、現に低下しているのではと思うことがしばしばあります。下の三常の教育は、こうした意味で教師が実践する中で身につけなければならない[教育の哲学]です。日常の教育実践では、この三常の教育を柱にして、子どもの人格形成をしていきましょう。

常識の教育・・・目標に沿った教育(実践・活動)

常時の教育・・・毎日の積み重ねる教育(日課表の中で行われる教育)

常道の教育・・・人の道としての変化のない教育(不易)

『思ったとおりには動かない。つくったととりに動くんだ。』

この言葉を教育に置き換えるとどうなりますか。だから私たちは、日々・・・。

(7) 教育実践に当たっての構え

我々教師の先輩が残した実践の構えに、次の4点があります。心して実践に生かし、子どもへ豊かな学力を培いたいものです。

- 1、夢のない教育は、潤いが無い。
- 2、計画のない教育は、力が無い。
- 3、記録のない教育は、うつろになる。
- 4、反省のない教育は、深まりが無い。

本年度は、教育活動に当たっては、上記の4つのことを一つの教育の繋がりとして連動させていきましょう。

(8) 先生方への14のお願い

学校には、いろいろな子どもがいます。それぞれの子どもに一人の職員として指導しなければなりません。それぞれの子どもの立場に立って教育をしていきましょう。ここに五者としての職員の姿が芽を出してきます。

弱い子どもの味方になってください。

できない子どもを励ましてください。

できる子どもを伸ばしてください。

言葉に温かみをもってください。

自分の失敗を語ってください。

自分の生き方を語ってください。

子どもの痛みを知ってください。

どの子にも一日一回声をかけたり、手をふれてください。

子どもに理屈をいわないでください。

自分の言動に責任をもってください。

しっかりした、言葉で、心を伝えてください。

子どもと自分の健康に注意してください。

どの子どもにも笑顔で接してください。

先生を出迎える子どもを育ててください。

(9) 自働教師を求めて

教師は子どものために動くことが大切ですが、教師としての意思、意欲、判断のない動きは、教育上役に立たないことが多くあります。動くという作用を[働く]という作用に変えれば、自主的に自分の意思で動くことが高められ、子どもはさらに生きてくるのではないのでしょうか。

(10) 凡事徹底の構えは、教師の知恵

当たり前のことを徹底してしっかり実行することの思想が大切です。二宮尊徳の言葉に、「千里の道も一歩ずつ歩いて至る。励精小なることを勤めば、大いなること必ずなるべし。」と言っています。基礎的・基本的なことに目をくばり、力をつけたいものです。

(11) 学校経営は点と線で結んで

「点と線をおろそかにするな。」この言葉は、学校経営で大切なことです。何事も次の5点からチェックマネジメントをしっかりとりたいものです。

- いま、経営はどうなっていますか。
- いま、経営はどうなりつつありますか。
- いま、経営で何が問題ですか。
- いま、経営でしなければならないことは何ですか。
- いま、自分のやるべき具体的な行動は何ですか。

(12) 我々は「田野小学校の職員」

私たちは、「田野小学校の職員」です。田野小学校の子どもの[命を守り、命を育てて]いかなければなりません。田野小学校の顔として、子どものために、保護者のために、地域のために結果を出さなければなりません。

本校は、極小規模校です。極小規模校といっても、やることはどこの学校も一緒です。しかし、できない事もあります。しかし、極小規模校だから、できる事もたくさんあります。このことを明確にし学校経営に取り組んでいかなければなりません。田野小学校の職員として、何をしなければならないかを思考・判断し、最高のアイデアと計画を練り、子どもたちのために最高の教育の実践の場を作っていきます。よろしくお願いいたします。

小さな学校で、大きな教育を！

基調と教育目標

1 基調

人間尊重の精神を基盤にして、今を強く生き抜くたくましい心身と磨かれた知性と豊かな情操を身につけた潤いと勢いのある人間を育てる。

2 教育目標

~ 心身ともにたくましく、
 豊かな感性と主体的な行動力を備え
 自らを誇れる子どもの育成 ~

校訓	めざす児童像	呼びかけ
かしこく	豊かに深く考える子 小さな気づきを大切に、深く学び、思いを拡げ、考えを発展させる。	知恵いっぱい
ゆたかに	広く温かく思いやる子 互いの「ちがいを大切に、人や自然、伝統や文化への愛情と慈しみの心を持つ	心いっぱい
たくましく	ねばり強くがんばる子 自らの「よさ」を大切に、心や体を鍛え、最後までやりぬく	元気いっぱい